



スリムオーディオインターフェース 4-Wire クイックスタートガイド

スリムオーディオインターフェース 4-Wire

クイックスタートガイド

Green-GOスリムオーディオインターフェース4-Wireは、プログラムオーディオやアナウンスの汎用ラインイン/アウトデバイスとして、また、ユーザーベースで32のチャンネルとプログラムオーディオ機能を提供するエンジンとして機能します。

Features (特徴)

- ラインイン/アウト モードとユーザーモードの切り替えオプション
- 1 x イーサコン RJ45ポート
- 1 x 3 pin XLRラインイン ポート
- 1 x 3 pin XLRラインアウト ポート
- 電源はイーサネットポートからのPoE (802.3af-2003規格) 給電

Setup menu navigation (セットアップメニューナビゲーション)

画面左側の2つのボタンを同時に押すと、スリムオーディオ4-Wire インターフェースセットアップメニューが開きます。メニューに入ると、左上のボタンがセレクトおよび確認ボタンとして機能します。左下のボタンを押すと現在選択されているオプションまたはメニューから1ステップ戻ります。右側にある2つのボタンを使用してメニューをスクロールできます。編集可能なパラメーターを選択した後は、これら右側のボタンでパラメーター値を増減させることができます。

Setup menu overview (セットアップメニュー概要)

セットアップメニューには、デバイスを変更するためのさまざまな設定があります。メニューセクションとそれに属するオプションについては後述します。ラインイン/アウトモードまたはユーザーモードを選択すると、セットアップメニューにさまざまなオプションが表示されます。これらのメニュー項目は後述の2つのセグメントで説明されています。

Line In/Out mode settings (ラインイン/アウト 設定)

Modifying the Line In audio settings (ラインイン オーディオ設定の変更)

Line In (ラインイン)

- Group** → ラインインにアサインされるグループを選択します。
(Program/All/Stage/Sound/Light/Video/etc.)
- AutoGain** → 歪みを避けるためにダイナミックアンプを設定します。
設定は Slow / Med / Fast / Off です。
オートゲイン(AutoGain)がオフの場合、最大ゲインがゲインになります。
- MaxGain** → 入力信号の最大ゲインを設定します。範囲は -12 ~ 28dB です。
- Threshold** → 送信に要求される入力信号のスレッシュホールドレベルを設定します。
範囲は -45 ~ -20dB、または OFF です。
- Hold** → Fast/Med/Long/XLong
- Normal/Enhanced Bandwidth** ノーマル/エンハンスト帯域幅
- In** → Line In / 125 Hz ~ 4 kHz

Modifying the Line Out audio settings (ラインアウト オーディオ設定の変更)

Line Out (ラインアウト)

- Group** → ラインアウトにアサインされるグループを選択します。
(All/Stage/Sound/Light/Video/etc.)
- Output** → ラインアウトの出力レベルを設定します。
範囲は MUTE、-42 ~ 6dB です。
- LoopBack** → LoopBack のレベルを 0 ~ -39dB に設定、またはオフにします。

User mode settings (ユーザーモード設定)

Assigning groups and users to channels (グループとユーザーのチャンネルアサイン)

Channels (チャンネル)

- 1-32** → ユーザーまたはグループをアサインする 32 のチャンネルから 1 つを選択します。
- ID** → チャンネルにアサインされているユーザーまたはグループの ID
 - Group** → グループをチャンネルにアサイン
 - User** → ユーザーをチャンネルにアサイン
 - None** → アサイン済みのグループ/ユーザーをチャンネルから削除
 - Set Label** → チャンネルに別のラベルを設定
 - Group** → グループラベルを選択
 - User** → ユーザーラベルを選択
 - Clear** → ラベルをクリア
 - Volume** → チャンネルのボリュームを設定します。範囲は 12dB ~ -36dB の間です。オーディオをミュートするには、スクロールして -36dB 超えると MUTE 値が表示されます。
 - High Priority / Normal Priority / Low Priority** → チャンネルのプライオリティを設定します。オプションメニューの Priority dim も参照してください
- An** → アナウンス(Announce)チャンネルとして扱うグループをアサインします
- Em** → 緊急用(Emergency)チャンネルとして扱うグループをアサインします

Enabling AutoTalk (Auto Talk 有効化)

AutoTalk (オートトーク)

Ch1-32 / Off → チャンネル 1 から 32 でオートトーク(AutoTalk)を有効にするかオフにします。AutoTalk が有効の場合、他からの送信なければ、利用可能な音声を選択したチャンネルに送信されます。

Modifying the program audio parameters

(プログラム オーディオ パラメーターの変更)

Program Audio (プログラム オーディオ)

- Mode** → Normal / Local IFB
- Src** → プログラムオーディオソースを選択します。
プログラムオーディオソースとして選択できるソースリスト (Program, Stage, Sound, Light, Video, etc) が開きます。
- Vol** → オーディオのボリュームを設定します。範囲は 12dB ~ -36dB の間です。オーディオをミュートするには、スクロールして -36dB 超えると MUTE 値が表示されます。
- Dim** → 通信中はオーディオを減衰します。
減衰範囲は 0dB ~ -12dB ~ -24dB までと MUTE です。

Modifying the Audio In/Out settings (オーディオ イン/アウト設定の変更)

Audio In/Out (オーディオ イン/アウト)

- Output** → オーディオアウト(Audio Output)の出力レベルを設定します。
範囲は MUTE、-42 ~ 6dB です。
- LoopBack** → LoopBack のレベルを 0 ~ -39dB に設定、またはオフにします。
- AutoGain** → 歪みを避けるためにダイナミックアンプを設定します。
設定は Slow / Med / Fast / Off です。オートゲイン(AutoGain)がオフの場合、最大ゲイン設定は無効になります。
- MaxGain** → 入力信号の最大ゲインを設定します。範囲は -12 ~ 28dB です。
- Threshold** → 送信に要求される入力信号のスレッシュホールドレベルを設定します。
範囲は -45 ~ -20dB、または OFF です。
- Hold** → Fast/Med/Long/XLong
- In** → Line In / 125 Hz ~ 4 kHz

General options (オプション)

Options (オプション)

- Active Time** → 最後のオーディオアクティビティの後にチャンネルがアクティブになるまでの時間を設定します。範囲は 0.5 ~ 45.0 秒です。
- Isolate On/Off** → チャンネルでトークを有効にしたときに他のすべてのチャンネルをミュートするかどうかを設定します。
- Buzzer On/Off** → アラートを受信したときに鳴るブザーを有効/無効にします。
- Tone** → Alert、Cue、Connection Status、Battery status、に使用されるオーディオ信号のレベルを設定します。
範囲は MAX、-1dB ~ -48dB、MUTE です。
- No Listen on Talk / Listen on Talk** → ミュートされているチャンネルに有効なトークが発生した時に、一時的にミュートの解除を許すかどうかを設定します。
- Answer Enabled / No Answer** → コールへのアンサー機能を有効/無効にします。
- Popup** → ポップアップ時の動作を選択します。
- Popup All** → すべてのポップアップを表示します。
 - Popup Cue + Direct** → キュー信号とダイレクトトークのみポップアップします。
 - Popup Cue** → キュー信号のみポップアップします。
 - No Popup** → ポップアップ無しです。
- Priority Dim** → プライオリティの高いチャンネルがアクティブになった場合、プライオリティが低いチャンネルに対する音量減衰レベルを設定します。範囲：0dB ~ -24db、MUTE。
- Direct Priority** → ダイレクトチャンネルのプライオリティを設定します。
Low / Normal / High
- Direct Volume** → ダイレクトチャンネルのボリュームを設定します。
範囲：12db ~ -36dB、MUTE
- Cue Mode** → キューモードを設定します。Normal / Auto / Ignore
- Output Cue Time** → アウトプットキュータイムを設定します。
範囲は 0.5 ~ 60 秒、または Off です。

Setup menu - continued (セッティングメニュー 続)

以下のメニュー項目は、ラインイン/アウトモードとユーザーモードの両方で使用できます。

User selection (ユーザーセクション)

Set User/Mode → スリムオーディオ 4-Wire の指定ユーザーを選択

Line In/Out Mode → スリムオーディオ 4-Wire を Line In/Out モードに設定します。

StageManager

FOH

Monitor

Director

etc.

Connection configuration (接続設定)

Connection → 使用する接続のタイプを設定します。

Local Connection → ローカル接続を使用する。

Remote Connection → リモート接続を使用する。

Password → パスワードを設定する。

Generate password → 新規パスワードを生成する。

Remote Port → リモートデバイスが使用するのと同じポートを入力します。

Remote IP → リモートデバイスの IP アドレスを入力します。

Backup

OFF / 0.0.0.1

SndBuf

Default / Small / Normal / Large

RecvBuf

Auto / Small / Normal / Large

Save → 現在のリモート接続設定を保存します。

Latency Connection → レイテンシー接続を使用します。

Audio

Normal / Compressed (ノーマル / 圧縮)

FEC → 使用する前方誤り訂正(Forward Error Correction)タイプの設定。

--- / On / Compressed

Latency

Save → 現在のレイテンシー接続の設定を保存します。

Configuration cloning (コンフィギュレーション クローン)

Clone Config → ネットワークから設定ファイルのクローンを作成します。

Configuration File A → 設定ファイル A をロードします。

Configuration File B → 設定ファイル B をロードします。

Factory Default → 工場出荷時のデフォルト設定ファイルをロードします。

Network settings (ネットワーク セットアップ)

Dynamic

ON → ダイナミック IP を使用します。

OFF → 固定 IP を使用します。

IP address → 使用する IP アドレスを設定します。

Netmask → 使用するネットマスクを設定します。

Gateway → 使用するゲートウェイを設定します。

Save → 現在のネットワーク設定を保存します。

Device options (デバイス オプション)

Device Options

Flip → 上下反転(フリップ) させる、ディスプレイの一部または全体を選択します。

Both → メニューとメイン画面をフリップします。

Menu → セットアップメニューのみフリップします。

Main → メイン画面のみフリップします。

Off → 何もフリップしません。

Scr Saver →最後の操作からディスプレイが切れるまでの時間を設定します。

範囲 : 常にオン - 10 秒 - 30 秒 - 1 分 - 10 分 - 30 分 - 1 時間 - 2 時間
(Always On - 10 sec - 30 sec - 1 min - 10 min - 30 min - 1 hour - 2 hours)

Scr bright → 画面の明るさを設定します。範囲 : 0 - 15

LED bright → LED の明るさを設定します。

範囲 : Off - 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - Max

Device information (デバイス インフォメーション)

Info → スリムオーディオ 4-Wire インターフェースに関する一般的な情報を表示します。

SN: xxx → スリムオーディオ 4-Wire インターフェースのシリアル番号

SI 4wire 4a55	→ ファームウェア情報
SI 4wire 4a55	→ ファームウェア バージョン
Jul 2 2018	→ ファームウェア リリース日付
09:32:09	→ ファームウェア リリース時刻

IP: xxx.xxx.xxx.xx → スリムオーディオ 4-Wire の IP アドレス

Mac: xx:xx:xx:xx:xx:xx → スリムオーディオ 4-Wire の Mac アドレス

Reset All Settings → すべての、IP、オーディオ、ユーザー、チャンネルの設定をリセットします。(設定ファイルは変更されません)

4-Wire connection setup (4-Wire 接続 セットアップ)

スリムオーディオ 4-Wire インターフェースには 2 つの動作モードがあります。汎用のラインイン/アウトモードとユーザーモードです。これらのモードの選択は、Setup メニューにはいり、[Set User/Mode] を選択後、[Line In/Out] またはリストからユーザーを選択します。

Line In/Out mode

ラインイン/アウトモードでは、1 つのグループがラインインにアサインされ、1 つのグループがラインアウトにアサインされます。Line In XLR 端子で受信したオーディオは、アサインされたグループのネットワークに送信され、すべての機器でプログラムオーディオソースとして利用可能になります。ネットワーク上のラインアウトにアサインされているグループ内のすべてのオーディオがミックスされ、ラインアウト XLR 端子から出力されます。

User mode

ユーザーモードでは、ユーザーがデバイスにアサインされ、デバイスは 32 のチャンネルとプログラムオーディオを持つユーザーとして機能します。32 のチャンネルにおいて、出力はすべてのチャンネルとプログラムオーディオのミックスになり、複数のグループのミックスが可能で、また優先度をつけてることもできます。ネットワークにオーディオを送信するには、32 チャンネルのうちの 1 つでオートトーク(Auto Talk)を有効にします (通常 チャンネル 1 です) 。

Technical specifications (仕様)

電源 :	PoE (IEEE 802.3af)
サイズ :	120 x 95 x 40 mm
重量 :	238 g

General safety instructions (安全の手引き)

ご使用になられる前にユーザーマニュアルと安全の手引きをお読みください。
安全と操作上の指示事項に関して遵守してお使いください。

Cleaning (クリーニング)

機器をクリーニングする前は接続されている全ての電源ケーブルと信号ケーブルを外します。
乾いた布で拭いてください。機器に液体をかけたりスプレーしたりしないでください。

Usage (使用法)

- 水や湿気のあるところで使用しないでください。 - 換気用の開口部を塞がないでください。換気用開口部は、機器内の空気の流れを確保し過熱から保護するために必要です。 - 製造元の指示に従って設置してください。 - 機器の通気口に物を入れないでください。活電部に物が触れたりショートしたりする可能性があり感電や火災の原因となります。 - ラジエーター、ストーブ、その他熱を発生する（アンプなど）機器の近くに設置しないでください。 - 雷発生時や長期間使用しないときは電源を外してください。不安定な場所には置かないでください。

Servicing (サービス)

修理が必要な場合は、有資格のサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグが損傷した場合、機器に液体がこぼれた場合、何かを落とした場合、雨や湿気にさらされ通常どおりに動作しなくなった場合、本体が落下した場合、など機器が損傷を受けた場合はサービスを受ける必要があります。以上のような状況が発生した場合は即座に電源プラグを外して販売店またはテクニカルサポートに連絡してください。

WARNING (警告)

火災や感電の危険を避けるために
本機を雨や湿気にさらさないでください

Declaration of Conformity (EU 適合宣言書)

We,

Manufacturers name: ELC lighting b.v.

Manufacturers address: Weerijns 8
5422 WV Gemert
the Netherlands

Herewith take the full responsibility to confirm that the product

Product Category: Communication equipment

Name of product: GGO-SI4WR

Which refer to this declaration are manufactured in the Netherlands and complies with the following product specifications and harmonized standards:

Safety: LVD (Low Voltage Directive) 2014/35/EU, EN62368-1

EMC: 2014/30/EG, EN55032

ROHS (II): 2011/65/EU

With the presumption that the equipment is used and connected according to the manual, supplied with the equipment. All signal input- and output connections must be shielded and the shielding must be connected to the ground of the corresponding plug.

Gemert, February 16, 2018

ing. Joost van Eenbergen

